

お誕生おめでとう！（敬称略）

- （ ）内は保護者の名前
- 10月15日～11月14日までの届出分

10月

| | | | |
|-----|--------|-------|----------|
| 9日 | 安岐町下原 | 鶴 虹恋 | （城聖・美里） |
| 14日 | 武蔵町向陽台 | 国広 笑凜 | （健太郎・涼香） |
| 17日 | 武蔵町 | 石丸諒太朗 | （駿・麻衣） |
| 18日 | 武蔵町古市 | 平野 絵菜 | （真也・彩夏） |
| 27日 | 安岐町西本 | 江藤つぐみ | （広宣・菜月） |
| 29日 | 国東町田深 | 福田 陸人 | （啓太・香織） |
| | 安岐町下原 | 水本 千里 | （泰広・友里加） |

11月

| | | | |
|----|--------|-------|----------|
| 4日 | 武蔵町志和利 | 安藤 陽奏 | （大輔・亮子） |
| 5日 | 国東町富来浦 | 松屋 悠音 | （麗矢・ひかり） |



お悔やみ申し上げます（敬称略）

- 10月15日～11月14日までの届出分

10月

| | | | |
|-----|-------|-------|------|
| 14日 | 国見町中 | 井上 照子 | （86） |
| 15日 | 武蔵町吉広 | 山本モモエ | （96） |
| 16日 | 武蔵町吉広 | 藤原 恵治 | （91） |
| 17日 | 安岐町富清 | 友弘 義行 | （96） |



と
て
い
く
が
で
き
ま
し
た。
大
三
空
空
暮
れ
ご
ろ
か
ら
は
星
空
普
ロ
ジ
エ
フ
ト
」
が
行
わ
れ
ま
し
た。
西
な
ど
の
人
を
指
導
の
も
と、
レ
モ
ン
た
ほ
彗
星
も
日
暮
星
も
見
が
暮
夏
こ
れ
の
星
日
た

表紙のはなし

| ひとのうごき 10月31日現在 | |
|-----------------|----------------------------|
| ●総人口 | 24,585（-20）人 （ ）内は前月比 |
| 男 | 11,991（-6）人／女 12,594（-14）人 |
| まちごと | |
| 国見町 | 3,270（-8）人 |
| 国東町 | 8,913（-15）人 |
| 武蔵町 | 4,646（+8）人 |
| 安岐町 | 7,756（-5）人 |
| ●世帯 | 12,892（+17）世帯 |
| ●主な異動理由 | 転入92人 転出75人 出生7人 死亡43人 |



深浦 希峰さん（JGC日揮グローバル株式会社 月面プラントユニットリーダー）

JGC日揮グローバル株式会社の深浦希峰さんは、「月面開発の最前線！～月の暮らしへと宇宙エンジニアの役割～」と題して、月面開発の最前線について講演されました。過酷な月面での活動に必要な推進薬（燃料）の開発のお話や、月面を舞台とした360度VR動画の視聴で会場を楽しませました。



猪俣 敏さん（国立研究開発法人 国立環境研究所）

国見町出身、国東高校の卒業生で、国立環境研究所で主席研究員をされている猪俣敏さんが今年も登壇。今回は「地球観測衛星で温室効果ガスを監視する～いぶきGWの紹介」と題して、今年6月に種子島宇宙センターから打ち上げられた地球観測衛星いぶきGWについて講演されました。



梶野 瑞王さん（気象庁気象研究所 全球大気海洋研究部）

気象庁気象研究所主任研究官の梶野瑞王さんも、2年連続で登壇。今回は「エアロゾルと雲の関係～地球を冷やす？暖める？」と題して、気体中に浮遊する微小な粒子・エアロゾルが雲の発生にどのように影響しているのか、発生した雲が地上の気温にどのような影響を及ぼしているのかなどお話されました。



関本 奏子さん（横浜市立大学大学院 生命ナノシステム科学研究科）

横浜市立大学大学院准教授の関本奏子さんは、「『香り』で知る植物のキモチ」と題して、香りの分子がどうやってできるのかなどを講演。動物は、生活を取り巻く環境が変われば移動することができるが、植物はそうはいかない。そのため香り分子を利用して生存環境の変化をもたらす力を手に入れた、という内容はとても興味深いものでした。



また、猪俣さんと梶野さんは、翌日14日に国東高校1年生を対象に「自己理解を深め、将来のライフプランを考えよう」と題したキャリア講演会にもご参加いただき、在学生と意見交換を行いました。

月面開発と地球環境観測 の最前線を知る

くにさき宇宙教室「君も宇宙の守り手に！」

アストラくにさきで、シンポジウム「くにさき宇宙教室『君も宇宙の守り手に！』」を開催しました。くにさき宇宙教室は大分空港の宇宙港化に向けた機運醸成の一環として令和5年度から開催。今年で3回目を迎えました。

シンポジウムでは、月面開発や地球環境観測、気象、植物などの研究・技術開発を行っている4人のスペシャリストの方が登壇しました。